

61:9 Uchida, Mr. and Mrs. Dwight T., Letters from Others

1952, n.d.

ALL INFORMATION CONTAINED  
HEREIN IS UNCLASSIFIED  
DATE 01-11-01 BY 60322  
UCBAW/STP/NO

86/97c



tell her that W. B. Smith says  
he expects a card from her  
saying she will arrive the next  
day and it will be his only  
busy day in weeks - I think  
he would like to see her  
and M M when he has a  
leisurely day - So would I.

Bye now - lots of  
love and thanks -  
Ruri -





Feb. 27 - 1958.

My dear Ike, -

Your letter with the card  
AND the book all came  
yesterday. I read your letter  
first of course; and the card  
and then the book - yes, I read it  
all the way through, and looked  
at the pictures and even enjoyed  
them too. The story is remarkable  
the way it builds up to the climax.  
I read it half way through again.

The illustrations are so  
life like. I keep wondering  
could a man with the name  
of William Hutchinson do

such intricate drawings  
without a slip anywhere??  
Wouldn't he do something that  
would tell me he was not  
quite Japanese? The more I  
look the more I see something  
to enjoy. Who is the man?

As for Yoshi, she always does well  
so I'm not surprised at that, but  
just proud and delighted. So  
I thank you, and I thank Yoshi  
and even W.M.H.

It all helped to give me a  
good day as I had to stay quiet.  
How the book will be enjoyed  
by others!

If Eleanor telephones you do



内田兄上で「木  
 郎」をかき、立春が後、空には漸く春のまきしが見えけりめした。昨日はお手紙を頂  
 きまして有難うなりました。且は喜ばし感泣し、胸がせまる思いを致しました。恭子か  
 入るにまつて、お父内もいさぐと氣を配つて、第一に経費の事を半年も前から考へて、  
 洋服(制服)は家にある物を洗ぬめえて、学校から紙を借りて来て仕立てる予定を立て、靴は  
 はまの靴を用いることにし、カバンは私がローケツ染をして手製衣にするなど、一経費の節約と工夫をして  
 いました。学校は私の居る西山に中学校があり、そこで、(二)入るさせる事にしました。私立でも私の居  
 る学校より、本人もしつかりやせられるでしょうし、私も注意が行届くと思ひます。月謝は月八百円  
 かりますが、これは内職をはまのがしてくれるし、どうにかなると思つていました。五十弗の大金を運んまれ  
 両親とも心から希望、急に感泣しています。何だが、大女心だった氣持で、減入している氣持が、これに  
 よつて三倍にも五倍にも力づけになつて、今後、明るい氣分をもつことが出来、ほかの事も好転するこ  
 とと思ひます。はまも大丈夫で、五の弗は有効に、適切に使用されることと思ひます。私の給料  
 が、いづれはまには、いつも「不安心な氣持」を感じさせ、いつも一月の予備費さえ出来たら……と  
 言つていました。私達は一月の貯金さえなかつたのだから、いくら根柢とも不足なのひす。然しまだ  
 借金はありません。はまも、この世界で一番きつなものは、借金をごすから。然し、お父、庭、夜、子供  
 はのびくしています。成績も向上し、よく遊ぶ、なかくよく手伝もします。これから子供達をほんと  
 にしつかり、お月さまといふ思ひます。おれを申します。

借金はありません。はまるが、この世界で一番大事なものが借金です。然し、家庭内や子供はのびのびしています。成績も向上し、よく遊ぶ、なかよく手伝もします。これから子供達をほんとにしっかり育てたいと思っています。育めく、おれを申します。

おれとこへは時々行って、使費いひと、金を返します。本當に立派で、いつも敬服しています。武田宅も感心かたう。交わる人も一偏の知識、偏見で、おれとこを見ても一日一日と正確にその今日苦節が出来る。感受性が高貴で、鋭い。何れも日本のよい所を見つけ、そして素直な批判して行くので、末日當時より、ずっと日本びりきになつてゐた。十二月廿日は東京へ行き、ほんとに面白い目を見せられた。京都で一番大きな中学校の P.T.A. の総会で、おれとこは堂々と物言に答へ、校長、会長、先生方は、いふ、父兄に大きな感動を與へました。話した方も實に適切で要領よく、しかもよくわかるので大好評でした。いつも見たるも話がつきず、おしいや、たが打撃することになりました。この十四日に又、私の家へ来てもらうことに前諾をしておきます。おれとこは、いつも、どんな事でも

え、ちやくでんれきもので、いつも「エンシヨ」イさせてもらった。面白かったと云つてくれます。こんな人柄に皆で上げられた足さへ姉兄に心からなる尊敬を感ずいます。阿井寛次郎氏は初の新最も尊敬する。其の辨けが、阿井さんとの交遊が開けたことは大きな幸福だ。壽岳文章、支生とも逢ひ、又一個人から奇案の面白い教養を得てゐます。日本の大寺院の生徒が二年も三年もかけて実習することを、彼さんは短時間で獲得しています。ほんとに大きな収穫だ。彼もへが日本のい所をどんぐり吸収して来れることが何よりの上だ。びびります。

淑ちやんは何処一行をも比はれ、愛をこめず、その水は人柄の美しさか、日本人の心を安んずけるからで  
 す。ゆつたりした知性にか、れた態度と、好まぬと親印、それに巧まない話しぶり、公平で穩かな  
 意見、くもどせぬ美しい感情。とにかく、若しみにあえぐ日本人の友達のアダニスみたいな感じを  
 人々に與えています。うちの友達も心から淑ちやんと慕つてゐます。志の愛情の表現はよくして  
 います。淑ちやんから與えられたものが大きいのに、友達から與えるものの少ないことをいつも残念に思つ  
 ています。然し私の與えようとするとものは既に多く持つてゐるのです。

私の学校も入学者が少なく、経営難に陥つておりますが、教育の本道を守りつつあり、教育をしていきたいと思っております。また、段々と林の親みを増してあり、はまるもヤギ校のP・T・Aの副会長としてながくよく活躍し、その他のために活動でも成績をお立てしております。なかへちあらしいところもあります。今、この奥芝とては申分ないと感じています。(これはアメリカ式の表現です) 酷い寒さもありやく薄く早く初めです。一雨降ると心に少しは暖かくなるのかと思ひますと春待つやうになり——いざ持たぬ油をまゐります。心からはお手紙を送るつもりです。何とお礼を申し上げてよろしく、やう、讀んでまいります。

間に流れて、困ります。思ひかけ、ちか、母親、あゝ心遣いと、身に浸み  
 てありぬ。あゝです。其れ子、入るにつまづきは、なんやしたしても、何うか、都今  
 をつけたい。半年も、あゝに、かけ、に、たか、子供、さうやして、たか、あゝ  
 お、貯金、ま、<sup>貯金</sup>、寒さ、の、用、さ、す、る、り、更、無、く、し、ま、す、た、を、その、み、の、配  
 の、種、で、し、た、其、上、何、を、と、ある、物、と、着、て、通、学、さ、せ、し、ま、う、で、し、た、が、判、断、に  
 ち、ま、す、た、を、其、の、用、意、に、踏、ま、し、ま、す、し、に、し、ま、し、た、所、で、し、た。主人、か、い、る、存、に  
 ち、ま、す、た、を、い、ま、ま、の、子、供、と、な、り、ま、す、と、は、服、装、も、さ、さ、ず、新、調、は、あ、る、し、た、  
 の、を、一、人、の、身、に、は、な、り、ま、す、と、い、う、す。私も、一、ま、ん、命、に、物、部、物、し、て、わ、し、て、も  
 お、は、事、と、と、<sup>廊下</sup>、は、な、り、ま、し、た、も、う、何、か、心、も、な、し、た、も、う、か、い、ま、す、と、い、う、た。  
 お、平、子、と、な、り、ま、す、と、い、う、た。若、し、中、に、も、は、な、し、た、心、配、な、い、思、ひ、か、い、ま、す、と、い、う、た。



PAR AVION  
航空

淑子様にもお礼の方からあせつていまして、苦く所、少くもさうして市原介に  
切れて申込を、取って下さいます。上品な言葉で書かれた物には、おれ等  
とこそ、及ばぬ所であらうございます。両親の感化と敬服致して、これより  
まず、お母も子供達をえんやうよくする所には、もうすぐ、協力できるは  
やうにと、教へようとした。PTAや、東卒の会でも、あちこち、主人が引くほ  
り出しを、くまなく、折返し淑子さんか凡そでも引かせるかと、その度に  
私の字に、お礼を書きます。慣れた土地の気候は身体に二匹（ふたひき）も合います。  
昨々（きのう）お父様の病室にお邪魔した。三月にうつて暖かく、さうして  
たう又また陽多く、たいと男を居ります。ほんとに今はありかゝる一瞬だ  
す。と。何となく、おれ申上げます。

はるみ

はちまき

折込線

二、一層病氣が重なりて日々を酷く度たりあり。お蔭様で、お披露目に習ひ人  
も三人増えられた。慣れたころまで氣落ちにはなしますが、子供は成長と云  
いかにして居りますか。早く子供共の大きくなりあつたに於いて、これから数年間  
はより一層其の上流にあつたらうか。子供を上級の學校に入れる事が出来ませう  
まは母として又新しい土着の地へ移すこと嬉しう思ふので一杯です。お蔭様で  
子供達も是迄之れ程に病氣もなく、またよく有難い事と存じて居り  
ます。一室下の親夫も、去年は小學校へ入学しました。私も夏ごろに、子に  
たりあつたのを、二階の一室に合間に働かせたと思つて居ります。四月には、  
陰曆も九年、裕子も二年と夫に進むところ、また、小學校の成績も上進で  
先立の信任も厚く、裕子は復元する。母としてこれ程嬉しい事は、ありません。







法

[illegible]